

ハウスクリーニングで浴室内の洗浄をしていると、数件に1件の割合で出くわす困った汚れがあります。特に重度に汚れた浴室内では、床面の滑り止め加工として細かいシワ模様の溝に黒ズミが入り込んで蓄積していきます。毎回使用する洗剤ではありませんが、このような汚れに当たると作業時間が大幅に増大してしまうのも事実です。車に1本積んでおくと、大変便利な専用洗剤です。

浴室内には、アルカリ性で落ちる汚れ・塩素系で落ちる汚れ・酸性で落ちる汚れが混ざり合っています。

①～③までの作業項目をした上で、床面に残留黒ズミが残った場合のみ、『エクセレント』を使用します。

**バスハンター**  
アルカリ性  
強力石鹼カス

【バスハンター】アルカリ性  
①最初に浴室全体の石鹼カスを除去します。

【ベルモット or シャルドネ】塩素系  
②バスハンターで洗浄後、残った汚れ(黒・ピンク)部分にカビ取り剤を使用します。

<b>ベルモット</b> 無発泡 強力カビ取り	<b>シャルドネ</b> 発泡 低臭・カビ取り
-------------------------------	-------------------------------

【ビビアン or マクビー】酸性  
③白く残ったスケール汚れには酸性を使用しますが、金属(鉄・ステンレス・アルミ)素材に付着したスケールは酸焼けを起こさない『マクビー』を選択します。

<b>ビビアン</b> 酸性 エフロ	<b>マクビー</b> 酸性 水垢・白いモヤモヤ
--------------------------	--------------------------------

ここまでは基本の作業です。

それでも床面に黒ズミが残留する場合！

【エクセレント】アルカリ浸透性  
④良く振ってから5倍希釈に薄め、床全体に撒いて15分おきます。時間が過ぎたらブラッシングすると、溶けるように落とせます。ステンレスハンドブラシ併用で更に作業効率が大幅にアップし、隅々まで落とせます。

**エクセレント** アルカリ性  
**ステンレスハンドブラシ** 床の黒ずみソフ

## ●こんな時に使用しましょう

ユニットバス等でも御馴染の素材(FRP)の浴室で、いつものように洗浄しても写真右のような黒ズミが残ってしまう時があります。なかなか落ちないので、ワイヤーブラシ等で時間をかけてブラッシングし続けて、時間がかかり過ぎていませんか？

元々は石鹼カスや皮脂汚れ(アルカリ性で落ちる汚れ)が床面の凹凸の溝に蓄積された汚れです。溝の中に蓄積されると、洗剤が触れる部分は表面(上)だけに…だから浸透性が落とせる理由に！



## ●こんな時は素材を確認して！

アパート等ではあまり使われませんが、浴室床材がFRPではなく石材(磁器タイル等)の場合で、



エクセレントを使っても全然黒ズミが落とせない！全く反応していない！そんな時は左写真のような磁器タイル素材の場合が多くなります。

同じ黒ズミでも、素材が変わると付着しやすい、しにくい汚れの性質も変わってきます。

基本作業、①～③を終了後、磁器タイルに黒ズミがある場合、エクセレントとは間逆の酸性でタイル水垢除去剤を使用します。

汚れの種類、素材の違いによって使える洗剤や使ってはいけない洗剤、効果の有無がはっきりと分かってしまう…それが浴室内の難しさです。

磁器タイル床の黒ズミには、ヴィーナスを使用します。

塗布1分後、パット洗浄で簡単に落とせます。



ヴィーナス